

2025年第3回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○城崎特別

城崎（きのさき）は、兵庫県豊岡市にある山陰海岸に面した温泉地。志賀直哉の小説「城の崎にて」の舞台にもなった。周辺には温泉寺や玄武洞などの名勝がある。

○加古川特別

加古川（かこがわ）は、兵庫県中南部を流れ、播磨灘に注ぐ川。延長96km。また、兵庫県南部加古川の下流にある市。同市は、日本有数の靴下の生産地として知られている。

○垂水ステーキス

垂水（たるみ）は、神戸市南西部の区。名は、垂れ水（滝）の滴りが尽きなかった場所があったことに由来し、万葉集では志貴皇子が「石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも」と詠んでいる。また、海苔の生産地としても有名。

<第2日>

○洲本特別

洲本（すもと）は、兵庫県淡路島中央部の市。名は、洲本川河口に発達した砂州の基部に位置したことに由来する。中心市街は、江戸時代初期以降に蜂須賀藩の家老稲田氏6万石の城下町兼漁港として栄えた。水産物加工が盛んで、イカナゴの釘煮、ちりめんじゃこなどが名産品。

○三木特別

三木（みき）は、兵庫県南部の市。室町時代には別所氏の城下町として栄えた。江戸時代から金物業が発達し、大工道具や園芸用具などの製造が盛ん。また、酒米である山田錦の主生産地としても有名。

なお、同市は馬事施設やキャンプ場等を併設する三木ホースランドパークの所在地でもある。

○水無月ステーキス

水無月（みなづき）は、陰暦6月の異称。この時期は、青葉の茂る季節であることから「青水無月」とも呼ばれる。

<第3日>

○三田特別

三田（さんだ）は、兵庫県南東部の三田盆地にある市。名は、名刹・金心寺の弥勒菩薩像の胎内に「当地一帯を松山の庄と号す。これを金心寺恩田・悲田・敬田の三福田を以って三田と改む」と記されていたことに由来する。1980年代以降のニュータウン開発を軸に発展している。

○安芸特別

安芸（あき）は、山陽道にあった旧国名のひとつで、現在の広島県西半分にあたる。古くは「阿岐」と書いた。日本三景のひとつである「安芸の宮島」が有名。

○三宮ステーキス

三宮（さんのみや）は、神戸市中央区の地名。神戸市随一の繁華街として有名。名は、三宮神社（生田神社の三の宮）に由来する。開国以降、外国人が多く居住していたことで知られ、現在でも北部の北野異人館街には異国情緒溢れる町並みが広がっている。

<第4日>

○逆瀬川特別

逆瀬川（さかせがわ）は、武庫川水系の支流で、六甲山系の船坂峠東方に源を発し、兵庫県宝塚市を流れる川。また、宝塚市内の地名。1943年に、阪神（鳴尾）競馬場を閉場し、この地へ移転する計画が策定されたが、その後建設が中断し完成には至らなかった。鳴尾競馬場閉場後の阪神競馬は、1949年12月3日、仁川に新設された現在の阪神競馬場で再開された。

○武庫川特別

武庫川（むこがわ）は、兵庫県南東部を流れる川。延長約66km。兵庫県篠山市に源を発し、青野川や羽束川などの多くの支流を集め、下流で逆瀬川、仁川などを併せて大阪湾に注ぐ。また、阪神電鉄武庫川駅は、武庫川に架かる橋梁上にホームがある全国的にも珍しい駅である。

○花のみちステーキス

花のみちは、阪急宝塚駅から宝塚大劇場に通じ、かつて武庫川の堤防であった中央部を利用している遊歩道。沿道は桜をはじめとする季節の花々にあふれ、宝塚を象徴する道として宝塚歌劇ファンや宝塚市民に親しまれている。

○宝塚記念（G I）

本競走は、1960年に創設された重賞競走。初年度は3歳以上の芝1800mで実施されたが、翌1961年に2000mとなり、1966年から現行の2200mとなった。また、1968年から開催時期が前倒しとなったことに伴い4歳以上の古馬限定戦となったが、1987年に開催時期が繰り下げられたことにより、春を終えた3歳馬にも再び出走資格が与えられるようになった。年末に中山競馬場で行われる『有馬記念』と同様、ファン投票によって出走馬が選定され、上半期のG I戦線を締めくくる一戦として定着している。

宝塚（たからづか）は、兵庫県南東部の市。同市は阪神競馬場の所在地でもある。

○リボン賞

リボン（Ribbon）は、紐状の織物のこと。勲章として用いられる他、衣服・帽子・頭髪や贈り物の装飾として結んだ形で使われることが多い。なお、阪神競馬場が所在する宝塚市では、同市にゆかりのある漫画家手塚治虫の作品「リボンの騎士」の主人公サファイアが同市の観光大使として活動している。

<第5日>

○舞子特別

舞子（まいこ）は、神戸市垂水区の地名。一帯は明石海峡に臨む浜辺で、明石海峡大橋で結ばれている淡路島を一望できる。古来より保養地として知られており、夏には多くの海水浴客で賑わう。

○ストークステークス

ストーク（Stork）は、コウノトリの英語名。全長1mほどで、ツルに似た外観を持つ。首と胴体は白色で、風切り羽は黒色。くちばしは黒色で長く太く、赤色の長い脚を持つ。なお、現在は絶滅が危惧される特別天然記念物で、兵庫県の県鳥にも指定されている。

○天保山ステークス

天保山（てんぼうざん）は、大阪市港区にある標高4.5mの人工山。1831年（天保2年）におこなわれた安治川河口浚渫工事の際、土砂を盛り上げて築かれた。現在は大阪市ベイエリアの一角として発展している。

<第6日>

○高砂特別

高砂（たかさご）は、兵庫県南部の市。加古川の河口にあり、播磨灘に面する。化学製品・食品・鉄鋼などの製造業が盛ん。港と松の繁る景勝海岸が有名で、謡曲「高砂」に「高砂やこの浦舟に帆を上げて…」と謡われる「相生の松」が高砂神社にある。

○姫路ステークス

姫路（ひめじ）は、兵庫県南西部にある市。播磨平野の中央に位置し、播磨灘に臨む。古くから山陽道と山陰道を結ぶ陸海交通の要衝として栄えた。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ姫路がある。

○サマーマイルシリーズ しらさぎステークス（GⅢ）

全4戦で実施されるサマーマイルシリーズの第1戦。本競走は、2025年に創設された重賞競走。2024年まで『米子ステークス』の名称で実施されていたが、GⅢに昇格したことを機に競走名を改称し、実施される。競走名は、阪神競馬場の所在地である兵庫県の世界遺産で、国宝にも指定されている姫路城の別名「白鷺城」に由来する。